

だんないの道

第32号

2017年12月8日発行

発行者：NPO法人CIL だんない

代表者：美濃部裕道

連絡先：〒529-0423 滋賀県長浜市木之本町
千田681番4

TEL : 0749-50-3639

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

代表あいさつ P1 新規事務所改修に向けてのご寄付の依頼 P2
私はなに? P5 地域のみなさんといっしょに作る大会 P6
「僕は計画ができない。けれども.....」 P6 活動報告 P7
コラム ヨリの雑記帳 P12

代表あいさつ

もう年末年始のことを話題にしなければならない時期になりました。事務所には、すでに慌ただしい雰囲気がただよい始めています。年末の交流会や来年のシンポジウム企画を考えている今日この頃です。朝晩の冷え込みが厳しくなり、だんないのある木之本地域にも初雪が降りましたが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

『だんないの道』の発行がご無沙汰となってしまいました。9月下旬に発行する予定が、すべての原稿がなかなかそろわず、今になってしまいました。会員の方や、いつも楽しみにしていただいている読者の方に、改めてお詫び申し上げます。

さて、だんないには春から秋にかけて、多くのお客様が来てくださいました。関西の若手メンバーで構成された関西ヤング委員会の皆さん、九州の障害学会の先生方、全国の若手メンバーで構成されたユースパワーネットワークが企画したツワーの参加者の皆さんなど、多くの方々が来られ、普段よりもにぎやかな「だんない」となりました。そのため、事務所には全国各地からのお土産が豊富にそろいました。だから、その間はおやつ休憩を楽しみにしていました（ダイサービスか！ww）。

また、11月は「だんない祭り」がありました。地域の皆さんはもちろん、兵庫県からもメインストリーム協会から、たくさんの方に来ていただきました。ステージも、どれもがだんないの雰囲気にぴったりで、素晴らしい時間となりました。本当にありがとうございました。

さて、滋賀県では条例制定の動きが活発化していると何度も報告していますが、ようやくその中身についての具体的な検討が始まったようです。これまでは、どちらかと言えば条例の必要性について主に議論されてきましたが、最近はどうのような条例にすべきかを滋賀県の社会福祉審議会に設置された条例検討専門分科会で議論が交わされているようです。子ども・高齢者・障害者を対象にした条例にすべきという意見が根強い中で、いかに障害者差別解消法を補完する中身、つまり障害当事者のための条例に作り上げていけるかに今後は注力していく予定です。

その中で、9月23日の米原集会を皮切りに、高島、草津と条例に関するイベントをそれぞれの障害者団体が企画・開催しました。だんないが加盟する北部地域障害者ネットワークが主催した米原集会には、60名ほどが参加していただき、最後は集会アピールを採択することができました。年明けの1月8日には彦根、2月には大津でも集会が開催されます。この動きが、より障害者のための条例へと結びつくように活動を続けていきたいです。

12月3日で、だんない設立7年となりました。くわしくは後のページに書いていますが、事務所を隣の空き家に移転することとなりました。現在、バリアフリー化に向けた改修工事が始まり、来年6月には移転できる予定です。完成したら、皆さまにお披露目させていただきたいです。その際は、ぜひお越しください。

『だんないの道』の発行ペースを取り戻すべく、メンバーに発破をかける決意を致したところです！

美濃部 裕道

新規事務所改修に向けてのご寄付の依頼

平素は、当法人に対してご支援ご協力を頂きまして、ありがとうございます。

設立して7年が経過し、この間「障害者の自立生活の保障」や「社会モデルへの変革」を目標に掲げ活動してきましたが、皆様方の暖かいご協力により順調に進めることができています。

さて、この度、今の事務所に隣接する民家の借家契約を行い、改修工事をしたうえで事務所機能を移転する運びとなりました。そして、今の事務所を相談スペース、新規事務所を活動スペースにする予定です。

2年ほど前より、当事者メンバー並びにヘルパー職員が増え、活動スペースの狭さが課題となっておりました。昨年夏に、今の事務所から南西隣に位置している物件が、所有者のご理解により譲渡いただけることが決まりました。以降、契約手続きや図面の検討・確定など、あらゆる準備を進め、ようやく契約・工事着工ができましたので、皆様方にご報告申し上げます。

しかし、かかる費用の大部分は銀行からの融資に頼らざるをえませんでした。厳しい経済事情の中で、十分な自己資金を生み出すことは非常に困難でした。それでも、今の事務所では活動に限界を感じており、新規事務所の改修は急務であると考え、工事の着手を決断しました。

つきましては、改修工事にご理解のうえ、下記のとおり、ご寄進賜りますようお願い申し上げます。書中にて失礼ではありますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



NPO法人CILだんない 南側用地整備計画

基本コンセプトとしては、CILだんないの日中活動の場を南側用地の母屋棟（以下、新事務所棟と呼ぶ）にシフトチェンジし、現事務所棟（以下、旧事務所棟と呼ぶ）を相談室等に使用目的を変更するものである。現在、旧事務所棟の1棟で日中活動、相談等、様々な事業を行ってきたが、この度の整備計画により、事務所内の棟の機能分化を図っていきたい。

機能分化後は、次のような事務所形態となる予定である。

a) 新事務所棟

①多目的室（45 畳）

新事務所棟北側

用途：日中活動の場、会議、研修会等。

また、貸会議室としても可能

②共用空間（風呂、トイレ、調理室。約 20 畳）

新事務所棟中側

用途：多目的室および、自立生活体験室の共用空間

③自立生活体験室（14 畳）

新事務所棟南側

用途：自立生活体験および、法人来賓の宿泊所として使用

b) 新倉庫棟

用途：法人の備品倉庫として使用

c) 旧事務所棟

①本部事務所

旧事務所棟北側

用途：法人本部および、居宅サービス部門の事務所として使用

②相談室

旧事務所棟南側

用途：相談等の応接室として使用

d) 旧倉庫棟（次年度以降に整備予定）

①資料室

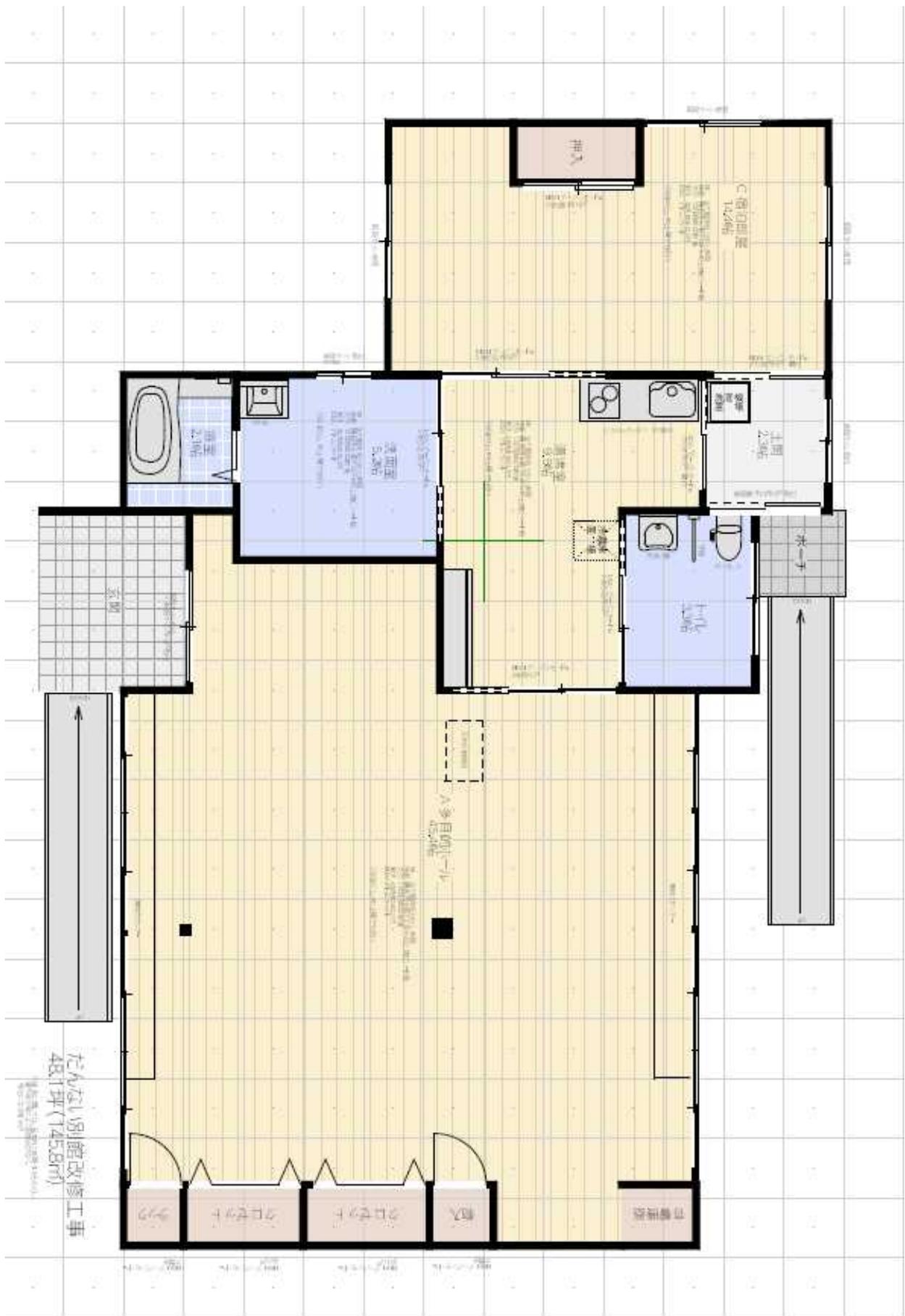
旧倉庫棟北側

用途：フィルムアーカイブス等の資料倉庫として使用

②休憩室

旧倉庫所棟南側

用途：休憩室として使用



私はなに？

大橋早香

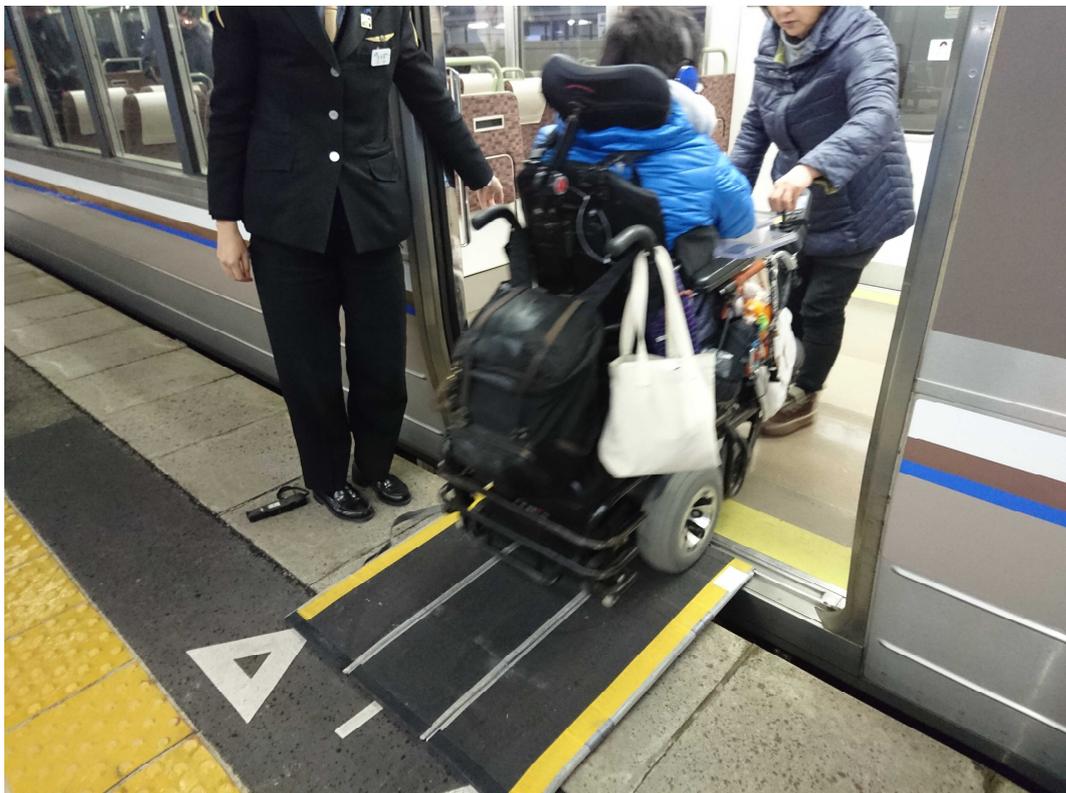
「車いす1台と介助の方1名ですね」

電車に乗る時、よく耳にする言葉です。介助者は1名なのに、車いすに乗っていると、1台と言われてしまいます。私自身は、車いすではないので、1名のはずです。私たちは車いすではなく、車いすを利用する人です。降車駅への連絡では、「車いすご利用のお客様の乗車前連絡です」と言っているのですが、私たちと話している時も「1台」ではなく「1名」と言うべきだと思います。

また、介助者に話しかける駅員や、私たちと話す時、まるで幼い子供を相手にしているような言葉づかいの駅員も多いです。それ以外の言葉づかいでも、電車に乗る直前に「この電車に乗せますね」と言われることもあります。私たちは、他の電車に乗る客と変わらないはずなのに、子供扱いや他の客にはしないような接し方をされたり、ホームに降りることも止められたりします。私たちは、他の客と変わらない。だから、子供扱いせずに、話している本人の目を見て、他の客と同じ対応をするべきです。

しかし、これは駅員だけの問題ではないと思います。社会全体に障害者は子供だとか、未熟な人だというイメージがあるからだと思います。それは、教育の場にも関係しているのではないかと思います。学校は小さな社会だと思います。その社会の中に障害者がいるか、いないかによって、そこに居る健全な学生が社会に出た時、障害者に対するイメージや共に生きるということが社会に広まっていくと思います。障害者についても、健全者のイメージが変わると思います。お互いが同じ社会で生きる存在であるということを感じあえる環境が大事だと思います。

私は、駅員に自分の意見を言うことに苦手意識があるのですが、最近は少しずつ発信しています。そして、何より私には、だんないをはじめとする多くの仲間がいます。その仲間と力を合わせて、これからも社会に向けて発信します。駅員に「私たちは、車いすではなく、子供扱いをされる存在でもない。他の客と同じなのだ」と。障害者がある人にもない人にも、障害の有無は関係なく、私たちはみんな社会の中で生きる人間で、別々の存在ではないと伝えていきたいです。



地域のみなさんといっしょに作る大会

小里和也

10月21日(土)、木之本運動広場体育館にて、滋賀県電動車椅子サッカー協会・京都府電動車椅子協会共催「サラダパンカップ」を開催しました。関西ブロックでは、何回か滋賀県で開催しましたが、滋賀県としては、初めて滋賀で電動車椅子サッカー大会を開催することになりました。

この大会では、滋賀らしさ、長浜らしさ、木之本らしさを出せる大会はなんだろうとすごく悩みました。そこで、考えて出てきたのが、木之本「サラダパン」でした。そして、絶対に「サラダパンカップ」にしたいと思い、つるやさんをお願いをさせていただきました。お願いに行くと、つるやさんもころよく「いいですよ」といっていただき、「サラダパンカップ」と名づけさせていただきました。つるやさん、本当にありがとうございます。

僕は、この大会に対して、強い思いが3つありました。

- 1、大会をみなさんといっしょに作っていく！
- 2、大会を通じて、たくさんの人と繋がりたい！
- 3、電動車椅子サッカーの存在と魅力を、たくさんの人に伝えたい！

この「サラダパンカップ」は、自分達だけではなく長浜、木之本の地域の人といっしょに作りあげていき、盛り上げていきたいと思っています。また、この大会を期にもっとたくさんの人と出会い繋がって、大会が終わってからもいっしょに「サラダパンカップ」を来年も再来年もずっと「地域のみなさんといっしょに作る大会」として続けていきたいと思っています。そして、電動車椅子サッカーの存在と魅力を、もっとたくさんの人に伝えていきたいです。電動車椅子サッカーは、外に出る楽しさと自信、自分の力を出せる場所、仲間との出会い、色々な経験、自分のしたいことや出来ることが増え、もっと社会が広がってくる存在です。だから、僕はこれからも電動車椅子サッカーを伝え続けます。

そのために、「サラダパンカップ」は、地域のみなさんといっしょに大会を作っていくことが大事です。みなさん、いっしょに素晴らしい大会を作っていきましょう！

僕は計画ができない。けれども・・・

谷口健人

10月21日に「サラダパンカップ」を開催することができました。最初は、ホンマにできるのかなあ？という感じで、不安もありましたが、「サラダパン」の名前を大会で使わせていただけることになって、新聞社さんに取材もしていただいて、記事が載って、「もう絶対失敗できない！成功させるしかない！なんとしても成功させる！」という思いで、何とかみんなががんばって、形にできたと思います。というよりも、実際には僕自身はそんなに何もできてなくて、それでも自分なりに必死でいろいろ準備して、気がついたら形になっていたという方が、表現としては正しいと思います。

僕は計画を立てて、その計画をもとに行動をしていくということが苦手です。けれども、今回の「サラダパンカップ」を実現していく過程で「計画を立てて、ひとつひとつ進めていく」ということの重要性を痛感しました。計画や役割分担がなければ、仲間に手伝ってもらおうということも上手くいかないだろうし、ボランティアのみなさんにいろいろと動いていただくこともできなかったらと思います。また、名義後援や協賛、新聞取材を受けさせていただいたりして、いろいろな人に思いをつたえるためには、どんな大会にしたいのかというコンセプトがとても大切だと実感しました。

この「コンセプト、計画、実行」は自分の人生の自己実現のためにも必要だと感じる今日この頃です。自分の人生のコンセプトをがつん！とをもって、ビシッと計画して、ひとつひとつ、ズバッと行動・・・していきたいです。

とりあえず、自立するぞ！！

活動報告

7月22日	知られていないイスラムのこと in 西宮市勤労会館大ホール	谷口
23日	障害者を殺すな 7.23神戸集会 やまゆり園事件を忘れない in 西元町きらきら広場	頼尊
24日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会 in長浜市役所	美濃部
25日	なんぼ・わかりやすいエレベーター表示 まち歩き(ワークショップ)	小里 谷口
	米原市障害者計画会議 in 山東庁舎	美濃部
26日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議 in えがお	美濃部
	「ともに生きる社会」を考える 7.26 神奈川集会 in 男女共同参画センター横浜(フォーラム)	頼尊
28日	だんない BBQin 山東	
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 全体会議 in長浜市役所	美濃部 小里 谷口 大橋
29日	すべての人に生きる権利！～バッシング社会を乗り越える～ in 大阪弁護士会館	美濃部 頼尊 大橋
29日	3つの大阪裁判 合同集会打ち合わせ	頼尊
30日	「みんなで語ろう 学校生活から始まる共生社会」講演 in 蛸池公民館	頼尊
	吹田市に障がい者関連条例を作ろう！ in ディオス北千里	谷口
31日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 養護学校卒業生の課題等の検討会議 in長浜市役所	美濃部
8月1日	バリアフリー研修 in 木ノ本駅&木之本ぶらり旅	美濃部 頼尊 小里 谷口 大橋 山本
2日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議in長浜市役所	美濃部
3日	米原成人式会議 in だんない	美濃部 頼尊 大橋
5日	女性ワークショップ in 神戸勤労会館	大橋
5～6日	バクバクの会 第27回全国集会 in 愛媛	頼尊
9日	代理投票訴訟	頼尊
	貧困問題連続市民講座 こんな社会に誰がした？ 国民総「最底辺」社会 in 大阪弁護士会館	頼尊
10日	米原市権利擁護センター運営委員会 in ゆめホール	美濃部
	意思決定支援ガイドラインの講演会 in 甲良町公民館	小里
11日	公益社団法人子ども情報研究センター 障害児の生活と共有を考える部会 夏の研修会 inHRC ビル	頼尊

12日	北部地域障害者ネットワーク会議 in ぽてとファーム	美濃部 谷口 大橋
16日	アクセス関西学習会 in 大阪中央会館	美濃部 小里 谷口 大橋
17日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 県条例検討プロジェクト in 長浜市役所	美濃部
	千田タすずみ会 in だんない	
18日	石部高校講演	谷口
	滋賀県障害者プランの改定に係る小委員会 in 大津県庁	美濃部
19日	相模原事件の背景にあるもの優生思想 in アネックスパル法円坂	美濃部 大橋
	劇団金夢太郎館第55回公演 in 豊中すてつぷボール	頼尊
20～ 22日	共生の障害学 研究会	頼尊
21日	だんない学習会 in 養蚕の館	
23日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会運営委員会	美濃部
25日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会 in 長浜市役所	谷口
	バイオ大学講演 in ひきやま博物館	美濃部 大橋 山本
	木之本大縁日 ILP	美濃部 小里 谷口 大橋 山本
26～ 27日	全国交流集会 in 熊本	頼尊
27日	サッカー会議 in 舞洲	小里 谷口
27～ 29日	女性障害者対象ピアカウンセリング集中講座 in しあわせの村	大橋
29日	ほっとステーション訪問	美濃部
30日	弁護士会議	頼尊
	「ポジティブ生活文化交流祭」事前説明会 in 日常生活支援ネットワーク「パーティ・パーティ」	頼尊
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 in 長浜市役所	美濃部 谷口
9月1日	ほっとステーション訪問	美濃部
	つるやパン訪問	小里 谷口
2日	第34回共同連全国大会 滋賀大会 in 立命館大学 くさつキャンパス	美濃部 大橋
3日	金平茂紀さんトークショー in 豊中商工会議所	頼尊
	第34回共同連全国大会 滋賀大会 in 立命館大学 くさつキャンパス	小里 谷口
4日	だんないピアカウンセリング講座 in だんない	
6日	ピアカウンセリング委員会会議 in ぽてとファーム	美濃部 小里
	ぽてとファーム打合せ	美濃部

	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議 in 長浜市役所	美濃部
7日	生誕祭	
9日	龍谷大学福祉フォーラム2017 in 龍谷大学瀬田キャンパス	谷口
9～ 10日	喀痰吸引等研修 in ささゆり園	谷口健吾
12日	湖北地域 福祉の職場説明会 in 長浜市役所	小里 谷口
	長浜市記者クラブ/スポーツ振興課訪問	小里 谷口
	滋賀県障害者差別解消支援地域協議会 in 合同庁舎	美濃部 大橋
13日	長浜市地域福祉活動計画推進委員会	美濃部
14日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 県条例検討プロジェクト 事務局会議 in 長浜市役所	美濃部
15日	障害者差別あるある in 大阪府障害者社会参加促進センター	谷口
	JIL 関西ブロックヤング委員会会議 in ぱあとなあ	小里
16日	日本宗教学会講演	頼尊
17日	バリアフリー映画祭 in 愛知	頼尊
18～ 19日	第1回 障害当事者エンパワメント連続講座 in 津市中央公民館	頼尊
19日	ひので作業所講演	美濃部
	障害者権利条約とインクルーシブ教育の課題 in 高槻市立生涯学習センター	小里 谷口 大橋
20日	求人配り・啓発活動	
	滋賀県障害者施策推進協議会	美濃部 大橋
	JCIL 訪問	美濃部 大橋
21日	第2回グループホーム世話人研修 in 大阪府障害者社会参加促進センター	谷口
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議 in 長浜市役所	美濃部
	脳性まひの二次障害って? in 多摩障害者スポーツセンター	頼尊
22日	バイオ大学講演	美濃部
	共同セミナー 女性の人権と複合差別経験のちがいと 重なりを考える in 大阪市立大学文化交流センター	谷口
23日	ネットワークイベント 条例をつくろう米原集会	
25日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会 in 長浜市役所	美濃部
25～ 27日	JIL ユースパワーネット 滋賀合宿	
26日	弁護士会議 in 大川弁護士事務所	頼尊
27日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 in 長浜市役所	美濃部 谷口
29日	米原市虐待防止ネットワーク in 山梨庁舎	美濃部
	共同行動実行委員会 in コミュニティセンター野洲	谷口

	代理投票会議	頼尊
10月1日	障害のある人もない人も 2017 風に吹かれて交流ひろば in 栄	頼尊 小里 谷口
	はなそう・あそぼう・ともだち連絡会 (京都ピープルファースト)	小里
	エンパワーメント講座 in 三重	頼尊
	条例をつくろう湖西集会	美濃部 大橋
2日	読売取材	小里 谷口
3日	貧困問題連続市民講座 もう奨学金なんて借りたくない!	頼尊
4日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会事務局会議 in 長浜市役所	美濃部
	ピアカウンセリング委員会 in かぼちゃ	美濃部 小里
5日	会議 in ぽてとファーム	美濃部
6日	米原市障がい者計画等審議会	美濃部
7日	なんばおにごっこ4 ゆるキャラなんば横断ウルトラクイズ	頼尊
	条例をつくろう草津集会	美濃部 大橋
10日	アクセス関西ネットワーク集会	美濃部 小里 谷口 大橋
11日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会当事者サポーター推進委員会	美濃部 谷口
	ポジティブキャンプ説明会	頼尊
12日	会議 in ぽてとファーム	美濃部
	湖北福祉の会講演	美濃部 谷口
12~ 13日	若手でつながろう!! II キャンプ in 大阪	小里
17日	会議 in ぽてとファーム	美濃部
18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会運営委員会	美濃部
19日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会県条例検討プロジェクト	美濃部
21日	滋賀県・京都府電動車椅子サッカー協会 サラダパンカップ	
23日	代理投票訴訟	頼尊
	湖北地域 福祉の職場説明会	美濃部 大橋
24日	法人税説明会	頼尊
	代理投票会議	頼尊
25日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会権利擁護部会	美濃部
26日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護医療ケア検討部会事務局会議	美濃部
27日	さざなみ会議	
28日	新作ドキュメンタリー映画「精神病院のない社会」	谷口
11月1日	ピアカウンセリング委員会打合せ in 湖北タウンホーム	小里
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会事務局会議 in 長浜市役所	美濃部
3日	だんない祭り	
4日	障害児の高校進学を実現する全国交流集会 in 名古屋	谷口
5日	だんない学習会 in 臨湖	美濃部 頼尊 小里 谷口 大橋
7日	滋賀県社会福祉審議会第2回条例検討専門分科会 傍聴 in 滋賀県庁	美濃部 小里 谷口 大橋
9日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会県条例検討プロジェクト in 長浜市役所	美濃部

10日	ステップあつぷ21研修会	小里
11日	第15回全国車いすアクセスマニア集会 in 臨湖	頼尊 小里 谷口 大橋
13日	代理投票会議	頼尊
13～ 24日	実習生就業体験	
14～ 15日	メインストリーム研修	頼尊 大橋
16日	ピアカウンセリング in 湖北タウンホーム	美濃部 小里
17日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会相談ワーカー部会 in 長浜市役所	谷口
	ヤング委員会会議 in ちゅうぶ	小里
18日	ぼてとファーム30周年記念感謝のつどい	美濃部 小里 大橋
	大阪精神医療人権センター設立32周年記念講演	谷口
20日	年末調整説明会	頼尊
	バリアフリー調査&研修 in 長浜駅まちテラス	美濃部 頼尊 小里 谷口 大橋
21日	リアライズ打ち合わせ	谷口 大橋
	JIL 関西ブロック主催精神プロジェクト 「精神当事者をセンターに増やす研修」 in 大阪総合生涯学習センター	小里
	長浜市成年後見・権利擁護センター運営委員会	美濃部
22日	ひだまり講演 居宅介護職員初任者研修①	美濃部 谷口
	「ポジティブキャンプ生活文化交流祭」前夜交流会 In 長居公園自由広場	頼尊
23日	第8回「東北⇔関西⇔九州ポジティブ生活文化交流祭」 in 長居公園 自由広場	
24日	木之本中学校講演	美濃部 小里
	相談支援とは何か？ in 長浜六角館	谷口 大橋
25日	普天間移設はどこに！？自分事からの出発として In すまい情報センターホール	谷口
25～ 26日	ピープルファースト大会 in 広島国際会議場	頼尊
27日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会 in 長浜市役所	美濃部
	ケース会議	美濃部
28日	平成29年度第3回滋賀県障害者施策推進協議会 in 滋賀県庁	美濃部 大橋
30日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 in 長浜市役所	美濃部 谷口

コラム

ヨリの雑記帳 (31)

頼尊恒信

最近、とにかく忙しい。けっこう、バタバタしている。日々があつという間に過ぎる。ある意味で、「充実した日々」といえば、それまでなのだろうけど、それともまた違う感がする。

それは、どこかで「思いっきり、遊びたい」という思いがあるのかもしれない。昔、先輩に「思いっきり遊んで、思いっきり悩め」と教えられたことを思い出す。「自立とは遊ぶことである」という言葉もあるが、総じて生まれつきの障害者は、その生い立ちから真面目すぎて、遊び下手であるとも言われたりすることもある。今回の雑記帳はそのお話である。

もちろん、この「遊び」とは、リクレーションのことではない。例えば、夜遊びとか、それに類することである。施設生活にない、自由なひととき、それを総称して遊びと考えることができるだろう。

「施設から地域、そして自立生活へ」というスローガンが掲げられて、もう30年ぐらゐ経つだろう。最初は、青い芝の会や自立生活運動をしている障害当事者だけが使っていたこのスローガンだが、今では当事者だけの合い言葉ではなく、より広く福祉関係者すべての合い言葉のように使われるようになってきた。昔であつたら、自立障害者が、遊びを通して自立生活の楽しさを伝え、「遊ぶ(夜遊びをする?)のために自立してきた!」と笑って仰っていた先輩方が多くおられた。だからこそ、先輩方は、「思いっきり遊んで、思いっきり悩め」と仰るのである。

今、そのような「昔の良き風習」がなくなってきたように思う。特に、相談支援事業が入ってきてから、相談支援や、週間、あるいは月間のケアプランという形で、生活が管理され、そこに、サービス調整会議のようなものも組み込まれる。また、地域生活のケアプランを施設サービスに携わっている職員が作る時代に突入している。もう、そうなる「遊ぶために自立してきた!」どころのハナシではない。施設生活のケアプランにうりふたつの地域生活のケアプランが飛び出ることさえあると聞く。

自立とは遊ぶこと。このことは、まさに施設のあり方から、人間の尊厳を取り戻し、人間としての遊ぶ楽しみを取り戻そうという行為であつたはずである。健常者に管理される人生から、自分で生活をコントロールし、生涯を通して楽しむことができる人生に転換していく人生へ転換していくことが自立生活と言いならわしてきたのではないか。それは、自立生活障害者のみぞ知る自立生活の醍醐味ではないか。ましてや、障害者と一緒に街に出て夜遊びすらしたとこのない施設職員にどうして、その醍醐味を組み込んだケアプランなるものが書けるだろうか。くそ真面目に書かれたケアプランに従って、施設のような生活を地域に出てもしないとイケないなんて、まっぴらごめんである。

遊ぶという営みの先に、自立生活の本質が見え隠れする。「思いっきり遊んで、思いっきり悩め」という言葉は、まさに、先輩方の生きざまの生き写しなのかも知れない。

ほとぼしる思いを、またもや『だんないの道』の編集直前に書いたボク。先日、東京のど真ん中の広大な敷地の中で紅葉狩りを楽しんでいた、日本テレビにスクープ(?)されてしまった件は、また別の話である。

(よりたか つねのぶ)

NPO 法人CIL だんない

〒529-0423

代表 美濃部裕道、副代表 市川正太

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

事務局長 頼尊恒信、理事 横山卓馬

TEL : 0749-50-3639

URL : <http://cil-dannai.jp/>

FAX : 0749-50-3961

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

郵便振替口座番号 : ゆうちょ銀行木之本支店 00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人CIL だんない